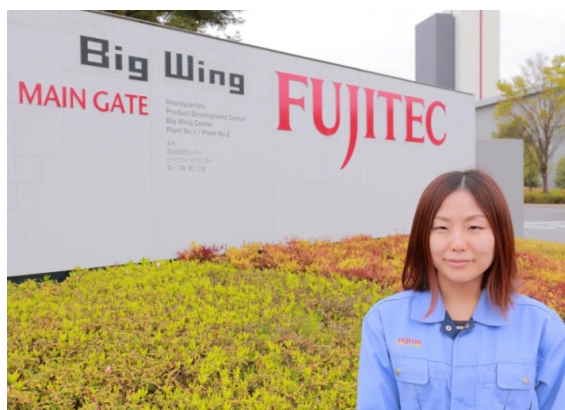


昇降機業界で活躍する女性の紹介

Ele-Komachi エレ小町 No.9

1. プロフィール

名 前：藤川 綾
 な ま え：ふじかわ あや
 会 社 名：フジテック株式会社
 所 属 部 署：設計計画部 設計一課
 職 種：電気設計
 入 社 年 度：2004年度



Big Wing 正門前

2. 担当業務について

私が所属している設計一課は、当社標準型のエレベーターに対し、オプション仕様を追加設計する部門です。お客様が求めている内容を最適に提供できるよう日々取り組んでいます。

私が入社した頃は、ビルセキュリティが珍しかったのですが、最近はセキュリティが強化されていることが普通となっています。防犯意識が高まったことでエレベーター内の防犯カメラは当たり前の時代になっています。また、近年は「安全性」と「利便性」を兼ね備えた非接触キーでのセキュリティシステムをエレベーターと連動させることが増えています。マンションやテナントビルなどでますます需要が高まっているのを感じます。

日々求められている仕様が変わっていきませんが、時代のニーズにあった商品を提供していけるように「食らいついて行こう!」と思っています。

3. 趣味など

私の趣味は美術館へ行くことです。特に金沢の「21世紀美術館」は何度も足を運ぶお気に入りの美術館です。常設作品のレアンドロ・エルリッヒ「スイミング・プー

ル」は何度みても飽きることがありません。また、企画展が多いので、毎回あたらしい作品と出会うことができ新鮮な気持ちとなります。

全国各地に美術館がありますが、特に注目しているのに行けていないのが青森県の「十和田市現代美術館」です。写真でしかみたことがないのですが、常設展示だけでも、チェ・ジョンファの「フラワーホース」、奈良美智の「夜露死苦ガール2012」、草間弥生の「愛はとこしえ十和田でうたう」など魅力的な作品で溢れています。観にいく日を楽しみにしています。

私が美術館に行くのは、ひいきにしている芸術家の作品を見るのが目的ですが、入社してからはエレベーターにも注目するようになりました。

美術館は、展示作品も重要ですが建物との一体感も大切です。近年、建造された美術館にはエレベーターも展示品の一部といっても良いような洗練されたデザインのものもあります。それを発見した時はなんとも言えない嬉しい気持ちになり、仕事の励みになっています。

4. 読者へのメッセージ

入社当時から、女性だからといって無下に扱われることもなく、働きやすい職場であることに感謝しています。スキルを付けるごとに同僚や他部門のスタッフからの信頼も得ることができ、女性の活躍できる場所だと思っています。

一方、女性が働き続けることのできる職場という視点からいくと、今年の1月から「育児・介護休業法」の改正法が全面施行され、離職することなく働き続けることの出来る体制が整ってきました。とはいえ、当社での女性設計者は、3%にも満たないのが現状です。仕事と家庭の両立ができる職場を目指し、周りのスタッフと協力して頑張りたいと思います。

5. 上長のコメント

女性設計者が少ない中、入社以来一貫して設計者としてのスキルを積み上げ、同僚からの信頼も厚く頼りになる存在です。

将来のチーフ、幹部職を目指して更なるスキルアップを図り、活躍することを期待しています。